

図書便り

平成30年11月30日発行
いわき翠の杜高等学校 図書部

季節が徐々に冬へと変貌を遂げている昨今、いかがお過ごしでしょうか。校内外問わず風邪をひいている人を多く見かけるようになり、少々心配になっております。乾燥が原因の一つになることもありますので、ひとまず水分補給を忘れずしっかりと行ってください。

なお図書室では乾燥しすぎないように、潤いすぎないように細心の注意を払って湿度調整を行っていきたくと思っています。

●図書部よりお知らせ●

先日募ったリクエストを含めた図書が一部入りました！

たくさんのリクエストがあり、大変嬉しく思います。なかにはせっかく希望を出してくれたものの、流通などの事情から入れることができなかったものもあります。また、日にちは未定ですが、12月に入ってから図書は入る予定なので時間があればのぞいてみてください☆

新着図書の詳しいリストは改めて配布します。

●本の紹介●

来月はクリスマスです。日本においては宗教の行事というよりも、季節のイベントという意味合いが強く、街中でもクリスマスに向けての商戦が繰り広げられています。

一日一頁をあけていくアドベントカレンダーのように、本もページや章ごとに日々めくって試してみてもいいかもしれません♪

★図書委員おすすめ★

『ジーキル博士とハイド氏』 933/ス ロバート・ルイス・スティーヴンソン；著
ある日、姿を消したジーキル博士と手紙に書かれた名、ハイド氏。彼等はどのような関係なのか本を読むにつれひもとかれていく謎を楽しんでみてください。

★クリスマス関連★

『風にのってきたメアリー・ポピンズ』 933/ト P・L・トラヴァース；著
バンクス氏の家に四人の子どもたちの世話の仕事のためやってきたメアリー・ポピンズ。一家のやんちゃな子どもたちと、なにやら不思議なメアリー・ポピンズ。彼女たちの日常のお話の中に、クリスマスの買い物に関するものがあります。

もちろん、メアリー・ポピンズのことですので「ふつう」であるはずがありません。すこし不思議な世界を覗いてみませんか？

『モミの木』 『アンデルセン童話集 1』収録 949/ア/1 アンデルセン；著
「町の外の森の中に、それはかわいらしいモミの木が立っていました。」

この一文から始まる物語の主人公は、人ではなく一本のモミの木です。このモミの木は早く大きくなりたい一心で、周りの木々をひたすらにうらやんでいます。いつだってまわりを羨み、早く大きくなることばかりを願うモミの木に待ち受ける運命とは？

童話としても楽しめますが、老若男女を問わず、ぜひとも読んでほしい短篇です。

……ほかに……

『ガラスのクジャク』(『天国を出ていく』収録 949/フ/2)：下町のクリスマス
『時の旅人』 933/ア アリソン・アトリー；著：16世紀に迷い込んだ少女が王位継承権をめぐる歴史的事件にまきこまれる。作中に当時のクリスマスの様子が描かれています。

『あらしの前』 933/ヨ ドラ・ド・ヨング；著：1910年代、第一次世界大戦前のオランダのクリスマスの様子が描かれています。

『クルミわりとネズミの王さま』 943/ホ ホフマン；著：フリッツとマリーのきょうだいがクリスマスイブにドロッセルおじさんからもらったプレゼントの中にあっただのは……？ 『クルミ割り人形』という曲やバレエを知っている人もいるのではないでしょうか。その原作がこの物語です。

まだまだ紹介しきれませんが、『レ・ミゼラブル』(953/ユ ヴィクトル・ユーゴー；著)、『青い紅玉』(933/ド コナン・ドイル；著)、『若きウェルテルの悩み』(953/ゲ ゲーテ；著)などがあります。

文学に描かれてる各国、各時代、各階層のクリスマスの様子を比較する読書の楽しみ方もありますよ(^▽^)